

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第375号

09年11月15日発行

道路整備事業推進大会って？

相変わらず高速道路建設の要望

前原国土交通大臣が「道路建設の促進大会に国交省の職員が出席しないよう指示した」旨の記事がありました。が、東京では今年も11月5日に開催されました。大型幹線道路、高速道路建設の予算をつけるという大会ですが・・・

参加して始めてわかる宣言・決議

「首都圏三環状道路をはじめとする幹線道路・整備を重点的に促進すること」

建設を促進するとい
うのが決議、宣言の
内容でした。こうし
た決議や宣言が「都
全域の自治体が、ガ
ソリン税の暫定税率
を延長し、道路をつ
くるように国に要望
する声をあげている」
という既成事実になっ
ていきます。

私は、「生活道路
など必要性がある道
路整備こそ促進すべ
きもの。大型幹線道
路の建設に税金を投
入する内容に賛同は
出来ない」と建設委
員会で理由をのべ、
以後の大会は参加し
てきませんでした。



品川区議会では、
毎回、建設委員会が
東京都道路整備事業
推進大会に参加して
います。
私も数回にわたっ
て参加してきました
。区民生活に必要
な道路整備は重要で
す。しかし、5年ほ
ど前に参加した大会
ではオリンピック誘
致を口実に三環状道
路（圏央道・外かく
環状・中央環状）の

昨年講演を見る
と、国交省が「（道
路行政が）高速道路
中心で身近な観点が
欠けているという批
判もある。中期計画
のなかで良いものに
していく」と言って
いますが、その見直
しは示されていませ

命とくらしを奪った道路建設

ん。

今年の大会宣言を見ると「国際都市東京を活力ある都市にするためには、首都圏三環状道路をはじめとする幹線道路ネットワークの早期整備はもとより・・・」と記述され、相変わらず高速道路建設に固執する姿勢です。また、9点の決議項目があげられていますが、これも第一が三環状道路整備の要



求です。

こうした宣言・決議に賛同できません。東京の 대기汚染公害裁判で、明らかとなっ

た住民被害は大変なものです。裁判後に症状が悪化し亡くなった原告団員、子どもが生まれた直後に喘息となり、自らの手では育てられなかった数十年間を切々と国交省交渉で訴えた原告団員など、人の



25年度の完成を目指し、国と東京都が2500億円の巨費を投じ、汚染物質は排気塔から区内全域に撒き散らす計画です。

ガソリン税は環境保全に使え!

区民のくらしに直接の関わりがあるのが中央環状品川線。起点の品川区八潮三丁目で高速湾岸線から分岐、目黒川及び環状第6号線の地下をトンネル構造で

北上、目黒区青葉台で現在建設中の中央環状新宿線及び高速3号渋谷線に接続する延長約9.4kmの路線です。東京都・首都高速(株)の合併施行方式により、平成

こうした計画を許す訳にはいきません。税金を投入すべきなのは大型道路建設ではなく環境保全です。ガソリン税を環境税とするなど必要な措置を早急に講ずることが求められています。

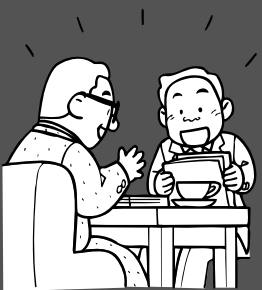


無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すずらん通り事務所

日時 11月20日 (金)

午後6時〜8時



前日まで15742-6818までお電話を下さい。